

渋谷混声合唱団第15回定期演奏会

FRANZ JOSEPH HAYDN DIE SCHÖPFUNG

オラトリオ  
天地創造

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン没後二〇〇周年記念



2009年 7/4 [土] 2:00PM開演 (1:15PM開場)

東京オペラシティコンサートホール タケミツメモリアル (京王新線 初台駅下車)

料金 一般3,000円 学生2,000円 全席自由

指揮 —— 水野克彦  
ソプラノ —— 佐竹由美  
テナー —— 望月哲也  
バス —— 山下浩司  
オーケストラ —— Symphonia Fons Harmoniae  
合唱 —— 渋谷混声合唱団



水野克彦



佐竹由美



望月哲也



山下浩司



水野克彦 *Katsuhiko MIZUNO*  
Conductor

東京藝術大学卒業。クラリネット専攻。在学中は藝大バッサ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶のもとにバッハの教会音楽作品を研究した。卒業後はクラリネット奏者としてオーケストラ、室内楽等の演奏にたずさわったが、しだいに中学生の頃から親しんできた合唱音楽や教会音楽へ傾倒するようになり、ピアノ伴奏者および通奏低音奏者としてこの分野に参加することが多くなった。現在は指揮者としてアマチュア合唱団の指導に力を注ぎ、オルガン演奏もライフワークとして取り組んでいる。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。2000年より渋谷混声合唱団常任指揮者。



佐竹由美 *Naomi SATAKE*  
Soprano

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了、博士号を取得。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー国際親善留学生としてミラノにて研鑽を積む。第53回日本音楽コンクール第2位、イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞、ドイツ・ライプツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。バッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」、ハイドン「天地創造」等、宗教作品のソリスト第一人者として活躍、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。現代作品においても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得て数多くの新作作品の紹介に関わっている。オペラでは日本オペラ協会東京室内歌劇場、日生劇場、二期会などにおいて主要キャストとして活躍、公演の成功に大きく寄与した。これらの演奏活動に対し、99年よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞を受賞。国立音楽大学および東京藝術大学非常勤講師。アンサンブル《BWV2001》メンバー。二期会会員。



望月哲也 *Tetsuya MOCHIZUKI*  
Tenor

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽科修士課程オペラ科修了。学部在学中に安宅賞、松田トシ賞を受賞。大学院在学中にNTTドコモより奨学金を授与。二期会オペラスタジオ第43期マスタークラス修了。修了時に最優秀賞、および川崎静子賞を受賞。平成19年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。第70回日本音楽コンクール第2位入賞(オペラ・アリア部門)。これまでに多くのオペラ作品に出演し、いずれも高評価を得る。2006年4月、二期会とハンブルグ国立歌劇場との共同制作によるモーツァルト《皇帝ティトの慈悲》における歌唱・演技は新聞・雑誌等で高い評価を得た。宗教曲の分野でも評価は高く、バッハ《マタイ受難曲》《クリスマス・オラトリオ》のエヴァンゲリストなど、そのレパートリーは30作品以上にわたり、多くのオーケストラ、著名な指揮者と共演し、いずれも高い評価を得ている。鈴木寛一、Arrigo Pola、Ernst Haefliger、Maksimilijan Cencic、Mimi Freissler、Walter Mooreの各氏に師事。二期会会員。



山下浩司 *Koji YAMASHITA*  
Bass

山梨県出身。国立音楽大学卒業、同大学院歌曲専攻修了。その後オーストリアのザルツブルク及び、ウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。第9回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。第7回J.S.G.国際歌曲コンクール第3位。オペラでは小澤征爾音楽塾プロジェクト『こうもり』、『ラ・ボエーム』、『セビリアの理髪師』の特別演奏会。サイトウキネン・フェスティバル松本『ヴォツェック』、『スペードの女王』。東京のオペラの森『エレクトラ』、『オテロ』、『タンホイザー』。東京室内歌劇場・別宮貞雄作曲『井筒の女』。東京二期会・宮本亜門演出『ドン・ジョヴァンニ』、『フィガロの結婚』、実相寺昭雄演出『魔笛』。新国立劇場『魔弾の射手』、『ムツェンスク郡のマクベス夫人』等、次々と注目の公演に出演し好評を得る。また、宗教曲およびコンサートのソリストとしても活躍している。2009年11月には東京二期会公演『カプリッチョ』のラ・ロッシユ役での出演が決定している。国立音楽大学専任講師。二期会会員。

渋谷混声合唱団  
SHIBUYA MIXED CHORUS

渋谷混声合唱団は、1984年12月に開かれた、「渋谷区民音楽のつどい〜第九を歌う会〜」第1回演奏会の出演者有志により、当時恵比寿社会教育会館長谷戸分館の社会教育指導員をされていた松崎フミ子先生に顧問をお願いし、このときのバリトンソリストの齋藤明生先生を指揮者にお迎えして、1985年4月に創設されました。16世紀のパレストリーナやバードの作品で宗教曲の基本を学び、ハイドン、ヴィヴァルディ、モーツァルトの大曲を歌えるようになりました。2000年1月から現指揮者の水野克彦先生にご指導をいただくことになり、宗教音楽を愛する団員の意気込みはますます大きくなり、さらに研鑽をかさね今日にいたっております。



シンフォニア・フォンス・アルモニエ  
SYMPHONIA FONSS HARMONIAE  
Orchestra

2000年に惜しまれつつ世を去った声楽家齋藤明生氏が生前、自ら指導する合唱団のために、親友であり音楽上の良き理解者でもあった海保 泉・あけみ夫妻に結成を依頼し、1990年頃より活動を開始した。以後、楽団の名称や団員は演奏会の都度、若干の変動があったが、齋藤氏と海保夫妻の要求する音楽性は常に一貫して維持されてきた。齋藤氏没後、その遺志を継いで活動を続けるにあたり、新たな楽団名を Symphonia Fons Harmoniae (シンフォニア・フォンス・アルモニエ) とした。これは「楽団調和の泉」という意味である。海保 泉氏の名にちなんでいる。

合唱団員募集

- 練習会場: 渋谷区内  
(主な練習会場: リフレッシュ氷川、ケアコミュニティ美竹の丘)
- 練習時間: 毎週土曜日 13:50~16:50
- 合唱指導: 水野克彦
- ピアニスト: 船澤めぐみ
- 連絡先: 小川 (TEL: 03-5560-7725)  
E-mail: yyy-dream@ta3.so-net.ne.jp

合唱団ホームページ <http://shibukon.com>

※携帯電話からもご覧いただけます。



【交通のご案内】

- 京王新線「初台」東口  
都営新宿線相互乗り入れ京王新線にて新宿から2分
- 渋谷より京王バス 渋谷63・渋谷64・渋谷66・渋谷61  
都営バス 渋谷66  
(バス停留所) 京王バス(渋谷63・渋谷66・渋谷61) …東京オペラシティ南  
京王バス(渋谷64) …東京オペラシティ  
都営バス(渋谷66) …東京オペラシティ南